

編集後記

ここに第五号をおくる。本号の所報の最初の記事でおわかりの通り、昨年春発足した大学院教育学研究科については、更に教育哲学、理科教育法の二課程の増設が今春認可された。そうして来春三月には、はじめての大学院卒業生(修士)を出すことになる。

この号から、従前執筆していた教育研究所関係者のほか、広く大学院の活動に専門のスタッフとして、または学内の他の部門から協力して居られる方々の寄稿を仰ぐことになった。それ故この号を手にされる読者は、前号迄に比して執筆者の数がとみに増し加わり且執筆分野の拡大されたことに気が付かれるであろう。本号に執筆の意図を有ち乍ら、外国からの資料の未着その他の御都合で、原稿を頂けなかった二、三の方々が有ったことも附記しておく。

原則として年に一度出版される本誌が、その刊行の意義を果し得る為めには、学内はもとより大方の御支援並びに御批判にまつことが多いので、今後とも十分の御鞭撻を賜わる様おねがいする。(編集委員、小島、長、秋田、関屋)

所 報

「ICU教育研究」第五号

昭和三十三年十二月十日 印刷

昭和三十三年十二月十五日 発行

編集兼
発行者

国際基督教大学教育研究所

三鷹市大沢 一五〇〇

電話 武蔵野 三七九一番

代表者 日 高 第 四 郎

東京都豊島区高田南町三ノ七五五

印刷者 東亜印刷株式会社